

令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立伊豆の国特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立伊豆の国特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	191人

1. 使用状況

寄贈物品名	屋外複合遊具
使用学年及び人数	小学部児童 83人
使用頻度	毎日
使用状況	朝の時間に小学部1, 2年生児童が自由遊びで使用。 火～金曜日の昼休みは、学年間で調整しあって使用。 火曜日の午後は4, 5, 6年のクラブ活動で計画的に使用。 不定期ではあるが、生活単元学習や特別活動、体育など授業で使用。
物品の使用による変化や効果	2年目に入っても複合遊具で小学部の子どもたちは積極的に体を動かすことができ、体力向上、筋力やバランス力向上に役立っている。また、1年目は難しいと尻込みをしていた児童も繰り返し遊ぶ中で少しずつ体の使い方を覚え、自信をもって自分から挑戦する姿を引き出すことができている。特に、今年度入学した小学部1年は活発な児童も多く、遊具遊びを大いに楽しみ、気持ちを発散させることで、国語算数などの教科学習にじっくり取り組む様子も見られる。遊具遊びが児童の励みやモチベーションにつながっていることも感じる。
今後の活用の見通しや課題	児童がたくさん活用し、遊ぶ中でロープの結び目や滑り台のネジに緩みもみられたので、定期的な点検や活動前の安全チェックを取り入れながら安全面に配慮して引き続き活用していきたい。
その他希望や所感など	児童が遊具で汗をかきながらたくさん体を動かし、終わった後は充実した笑顔が見られ、大型遊具の有難さを感じています。今後も有効に活用し大切に使用させていただきます。

2. 活用の様子

